

# 市民のひろば

身近な話題などお知らせください！  
情報をお待ちしています

## 炎を見つめ一年の幸せを祈る

市内各地でほんげんぎょう



子どもたちの願いをのせた炎が空を焦がした

正月の伝統行事、ほんげんぎょうが市内各地で行われました。下塩塚地区では子ども会の行事として1月8日に実施。昨年12月18日に立てた高さ約6mのやぐらに、しめ縄などの正月飾りや子どもたちの1年の目標を書いた厚紙をつけ、午前7時30分過ぎに点火。すると炎が勢いよく燃え上がり、やぐらを囲んだ人たちを暖めました。やぐらが燃え落ちた後は、残り火の上に金網を敷き、焼きもちや焼きイモづくり。子どもたちは熱々のおもちやサツマイモをほお張っていました。

## アニメの主人公3人に特別住民票

御花で柳川市特別住民票授与式



桜庭さん(中)と松山監督には柳川まりも贈呈

柳川が舞台の3Dアニメ映画「ドットハック〜セカイの向こうに〜」の主人公3人に、柳川市特別住民票が交付されました。3人が本市在住の中学生に設定されていることから実施した。授与式は1月14日に御花であり、監督の松山洋さんと主人公の少女の声を担当した女優の桜庭ななみさんが出席しました。桜庭さんは「吹き込みのときから柳川はすてきな町と思っていた。住民にしてもらいうれしい」と話していました。

## それぞれの思いを胸に込めて

成人式で804人が大人の仲間入り

1月8日、市民会館で成人式がありました。今年、誕生した市内の新成人は804人。式典では、大関琴奨菊関から届いたビデオレターが流され、「自分の理想に近づくよう頑張ってください」とエールが送られました。新成人を代表して有明工業高等専門学校5年の古賀郁香さんが「建築家になってバリバリ働きたい」と決意表明。新成人たちは、久しぶりに再会した友人らと思い出話を花を咲かせていました。



新成人を代表して謝辞を述べる松永直徒さん

## サルも潟には勝てませんでした

昭南町の干拓堤防でサルを捕獲

1月6日、昭南町の干拓堤防下で、野生と見られるオスのニホンザルが捕獲されました。このサルは前日から昭南町で目撃され、市が行方を追っていました。この日の正午前に住民から通報があり、排水機場付近でサルを発見。市職員と応援に駆け付けた警察官が包囲網を狭めると、逃げ場を失ったサルは干潟に逃走。潟に首までつかり体力を消耗したところを警察官が網を掛け、3時間に及ぶ捕物は幕となりました。この後サルは大牟田市立動物園で治療を受け、11日に山へ返されました。



市職員に追われ干潟に逃げるサル

### お茶の間に北の軍服動き出す

水も人も  
キラリ

## 川柳

今月の入選作品・課題「服」

江口和子(今古賀)

国のリーダーが民主主義と対極にある世襲とは。人々の飢えを横目の軍事など決して永遠のものではない。今もなお形を変えた「岸壁の母」がいることを私たちは忘れてはならない。改めて教育の大切さを思う。  
流青

- まだ何かやれそう春の服を買ふ 佐藤良子 (蒲生)
- 軍服の父の写真にある昭和 お難さまなんとゆかしきお召しもの 古賀麗子 (吉原)
- 袖通す事なく着物詫びて干す 山田美代子 (下宮永町)
- 姿見に過去現在を語る服 石川百合子 (材木町)
- こんな時明るい服を着ていこう 梅崎省二 (佃町)
- たまに買う自分に褒美春の服 梅崎三和子 (田脇)
- スーツもう縁ない暮し草萌える 吉開綾子 (筑紫町)
- 制服が夢を背負って走り出す 横山保 (徳益)
- 制服のりりしい男の子声変わり 西田トミニ (中島)
- 被災地に援軍頼もし迷彩服 野片義博 (隅町)
- おさがりに姉の思い出こぼれ出る 原田アツ子 (有明町)
- 一年生指先少し覗く服 黒田和代 (吉富町)
- 見たような父の服だよあの案山子 鶴岡定子 (東浦池)
- 何時かまたきつと着れるとしまう服 野口美恵子 (上宮永町)
- 古稀迎え変身したいこの服で 大橋ミヨ子 (六合)
- 縁側の対の締入れ寒の入り 松崎やす子 (佃町)
- 青い服着た人今日も探し行く 砥上征夫 (鷹ノ尾)
- 軍服の遺影の父の顔凛々し 佐田輝喜 (明野)
- リホームの服は母の香ふと匂う 持永マサ子 (新外町)

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん。3月の課題は「夢」です。入選作品は3月1日号に掲載します。

●応募方法 川柳と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスマまたは直接、柳川庁舎企画課広報係(☎77・8425、FAX74・5520)へ、2月15日(※必着)までにお送りください。

たんぽぽの綿毛に夢があり空へ

流青

## 曾我祐準の足跡と人となりを学ぶ

柳川歴史文化講演会



貴族院議員としての祐準について講演する小林教授

柳川出身で幕末から大正にかけて、軍人、政治家、実業家として活躍した曾我祐準の足跡を学ぼうと、1月7日、市史編さん委員会はあめんぼセンターで「曾我祐準とその時代」と題し講演会を行いました。講師は東京大学史料編纂所の保谷徹教授と青山学院大学の小林和幸教授。小林教授は「貴族院議員としての曾我祐準」と題して講演。曾我は情報を公開し、議論に基づく国民本位の政治をする「公論主義」を主張していたことを紹介。保谷教授は「戊辰戦争と柳河藩」のテーマで講演しました。